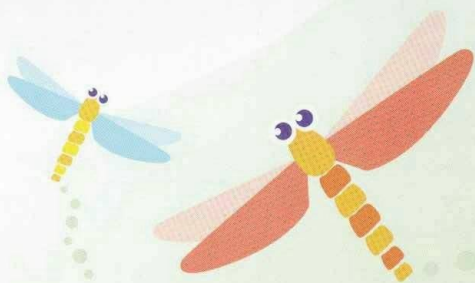


# 高鍋町

TRAVEL GUIDE

観光ガイド

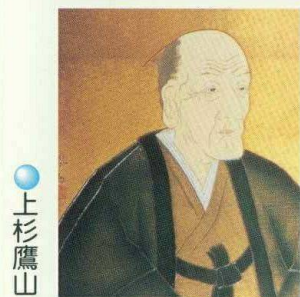




# 高鍋の文化に触れる...

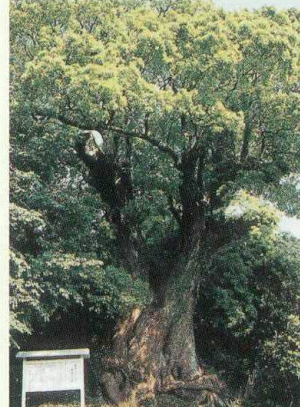


**●明倫堂跡**  
県立高鍋農業高校の玄関わきに石碑があります。享和4年(1719)秋月種弘公(5代)が、学問武芸の稽古所を開いたのがはじまりで、種茂公(7代)の時、独立した学校を建設することとなり、安永7年(1778)2月24日竣工し明倫堂と名づけられました。



上杉鷹山

9才で米沢の上杉家の養子となる。種茂の弟治憲、「なせばなるなかねばならぬ何事も ならぬは人のなさぬなりけり」の名言があり、五両の金に不自由した上杉家の再興をなした名君です。



**●高鍋の大クス**  
国指定天然記念物。樹齢500年舞鶴公園北詰にあります。



**●城堀公園**  
高鍋城の堀。県内唯一残された城堀。800mの長さで、ほぼ昔の形を残しています。水をたたえ、ハスが花さく、美しい堀です。



**●三好善太夫墓地**  
藩の重臣三好善太夫重道、治憲(鷹山)の上杉家入りを喜び「わが家より善家を大切にすべき心得」等の訓言は、鷹山の生涯の指針となりました。



**●舞鶴神社**  
旧高鍋城(舞鶴城)内二の丸にある。高鍋藩政時代に品陀和気命(応神天皇)・菅原道真・漢高祖等、別個に祭られていた神社を明治4年7月廃藩に当り、高鍋の住者の総意により合祀し、併せて秋月家歴世の神霊を配し、旧城名を取って舞鶴神社となりました。神門には、柿原宗敬外の献額二面があり、境内を含む旧城内には殉難招魂の碑、種樹公漢詩碑といった文化財が数多く残されています。



**●愛宕神社**  
黒谷入口右側。祭神「火産靈大神」秋月家歴代藩主のひごのもと、町民の尊宗が深い。



**●秋月墓地**  
名君として高鍋藩の誇りである秋月種茂公をはじめとする秋月家一族の墓のほか、鈴木馬左ら先哲の墓が多い。墓地には大龍寺・安養寺・龍雲寺の寺跡が残っています。



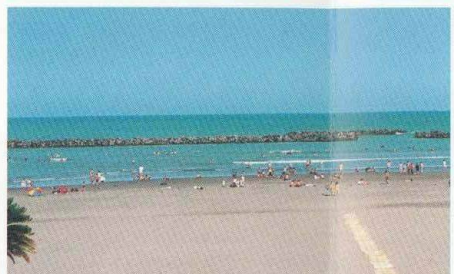
**●高鍋町美術館**  
この美術館にはロールバック方式で242席の観客席を保有するユニークな多目的ホールを備えています。美術作品の展示はもちろん、演奏会等様々な文化活動を行なう「心」の発信基地として利用されています。



**●家老屋敷**  
別名「黒水家住宅」。平成7年に復元。黒水家は筑前より秋月家に従い、高鍋にはいった旧家。典型的な上級武家作りです。



**●高鍋温泉「めいりんの湯」**  
露天風呂などの温泉のほか郷土料理がたのしめる「萬葉亭」や名産品が販売されている「萬葉館」があります。



**●高鍋海水浴場**  
開設以来無事故を誇る児湯地区唯一の海水浴場です。



**●高鍋海水浴場キャンプ村(蚊口海浜公園)**  
海水浴場に隣接し、周囲を松林に囲まれた潮騒の間こえるキャンプ場です。



**●立花神社**  
鹿兒島県霧島神宮の御分霊を斎き祭りたる神社。夏祭りは7月下旬で、みこし・太鼓台がくり出されます。



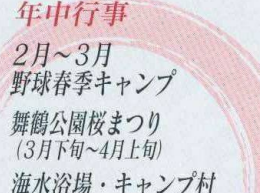
**●八坂神社**  
農業、厄除、開進、国民和合、縁結び、福の神などの御神徳があることと、通称祇園さんと呼ばれています。夏祭りは7月中旬で、子供みこしがくり出されます。



**●火産靈神社**  
高鍋町にたびたび大火があり、その難を逃れ、町の安全を願うため建てられた。火の神として、また通称荒神さんと呼ばれ親しまれています。夏祭りは7月下旬で、みこし・太鼓台がくり出されます。



**●鵜戸神社**  
祭神 鵜草葺不合命(うがやふきあえずのみこと)由緒創建年月日不明。官幣社鵜戸神社の分霊を祭ることも伝えられています。蚊口地区住民総出でみこしもくり出され勇敢なお宮入りが見られます。



**●おとし大年神社**  
「百済伝説と之伎野碑はつながりがあるのではないか？」地区民らが再建した神社で、之伎野碑を祭っています。



**●老瀬観音**  
高鍋町と木城町の境にあり、雄滝・雌滝の中間岩間に安置されているのが観音像で、石仏に、文政10年と銘記してある。古来この地域では、安産の守り、五穀豊穡、難病平癒の仏として信仰厚く参拝の人は後を絶たない。

## 高鍋の土産品ご案内と年中行事

|             |                 |         |
|-------------|-----------------|---------|
| ●青木落花生(落花生) | ●高島産業(お茶)       | 22-1132 |
| ●アンビシアス(漬物) | ●高鍋ギョーザ(餃子)     | 22-2531 |
| ●市島羊羹製造本舗   | ●高鍋茶業(お茶)       | 22-1269 |
| ●加行商店(たれ)   | ●宝酒造(焼酎)        | 23-0172 |
| ●お菓子処(お菓子)  | ●どんぐりミルク工房(乳製品) | 21-1885 |
| ●唐木戸陶苑(陶器)  | ●長谷川だんご(お菓子)    | 22-5400 |
| ●餃子の馬渡(餃子)  | ●高鍋町地場産業振興会     | 23-1333 |
| ●黒岩牧場(有精卵)  | 市 外 局 番         | 0 9 8 3 |
| ●黒木製茶(お茶)   |                 |         |
| ●黒木本店(焼酎)   |                 |         |



**●お問い合わせ先** (宮崎県児湯郡高鍋町)  
●高鍋町企画商工課 ☎884-8655 TEL.0983-26-2015  
●高鍋町観光協会 ☎884-8655 TEL.0983-22-5588  
高鍋町役場 URL:http://www.town.takanabe.miyazaki.jp/  
高鍋町観光協会 URL:http://www.kankou-takanabe.com/

**年中行事**  
2月~3月 野球春季キャンプ  
舞鶴公園桜まつり (3月下旬~4月上旬)  
海水浴場・キャンプ村 (7月下旬~8/31)  
古墳まつり  
高鍋城灯籠まつり (10月)



**●ナンキンハゼ通り**  
高鍋高校の正門前には、57本のナンキンハゼの並木道があります。平成9年にカラー舗装もされ、学生達の登下校をやさしく見守ります。



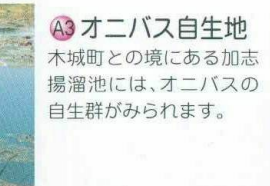
**●芭蕉の句**  
高鍋駅より徒歩5分、鵜戸神社の境内に句碑があります。「うたがふな潮の花も浦の春」旧高鍋藩時代、句会が盛んであった頃、神官の岩切副寛が、慶応2年以前に建てたものとされています。



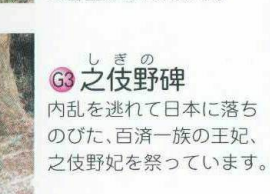
**●石井十次生家**  
岡山県区学校に入学するまで、ここで育った。現在は館野家の住居になっています。邸内の一室に石碑と、案内板があります。



**●石井十次詩碑**  
県立高鍋高校の正門脇に建立されている。宮崎県椎葉村産の青い自然石のなかに銅銅板をはめこみ、明朝体の書体で、極めて雄渾な十次のうたった三連の詩が刻み込まれています。



**●オニバス自生地**  
木城町との境にある加志揚溜池には、オニバスの自生群がみられます。



**●切原川(螢の里)**  
小丸川の北、切原地区に流れる支流、切原川一帯、名貴川力士の記念碑あたりより、上流川南町境まで、6月の季節になると、螢の群生がみられます。



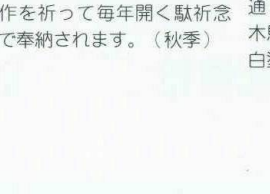
**●ハマボウ群生地**  
アオイ科の落葉低木で、直径8cmほどの黄色い花を初夏から8月いっぱい付けます。自然環境が素晴らしいことを示す貴重な群生地です。



**●サーフィン場**  
海水浴場の南に隣接。県内はもとより西日本でも有名なサーフィンポイント。



**●鳴野釣場**  
自然豊かな小丸川河口北側は絶好の釣りポイントであり、チヌ、アカメをねらう釣り客で賑わいます。



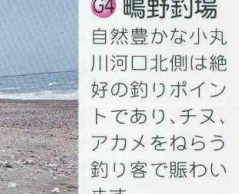
**●大時計台**  
「時間の励行日本一」運動を展開している高鍋町のシンボルとなっています。ソーラー時計としては日本一の大きさを誇ります。



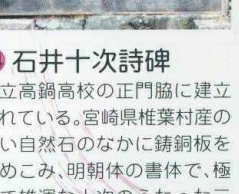
**●大時計台**  
「時間の励行日本一」運動を展開している高鍋町のシンボルとなっています。ソーラー時計としては日本一の大きさを誇ります。



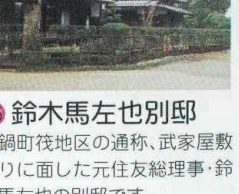
**●サーフィン場**  
海水浴場の南に隣接。県内はもとより西日本でも有名なサーフィンポイント。



**●鳴野釣場**  
自然豊かな小丸川河口北側は絶好の釣りポイントであり、チヌ、アカメをねらう釣り客で賑わいます。



**●石井十次詩碑**  
県立高鍋高校の正門脇に建立されている。宮崎県椎葉村産の青い自然石のなかに銅銅板をはめこみ、明朝体の書体で、極めて雄渾な十次のうたった三連の詩が刻み込まれています。



**●鈴木馬左也別邸**  
高鍋町筏地区の通称、武家屋敷通りに面した元住友総理事・鈴木馬左也の別邸です。白塗の土塀が昔を偲ばせます。



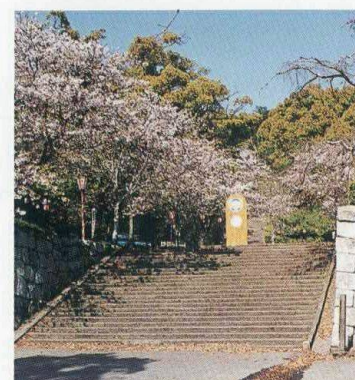


#### 町内宿泊施設

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 石川旅館       | 電話：0983-23-0117 |
| ホテル泉屋      | 電話：0983-22-3366 |
| 磯亭         | 電話：0983-22-1146 |
| ホテル黒木      | 電話：0983-22-4858 |
| ホテル四季亭     | 電話：0983-23-0043 |
| 高鍋第一ホテル    | 電話：0983-23-0111 |
| つるや旅館      | 電話：0983-22-3368 |
| ビジネスホテル富士屋 | 電話：0983-22-5810 |
| 高鍋亀の井ホテル   | 電話：0983-21-1200 |
| 民宿やすらぎ     | 電話：0983-23-3601 |

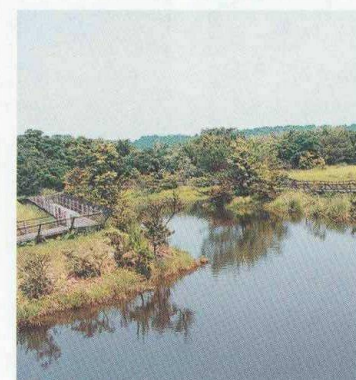
#### 交通機関

|            |                 |
|------------|-----------------|
| J R 高鍋駅    | 電話：0983-23-0051 |
| 宮崎交通バス     | 電話：0983-23-0027 |
| MR交通株式会社   | 電話：0983-23-3939 |
| 日の丸タクシー    | 電話：0983-23-0021 |
| 宮交タクシー     | 電話：0983-23-0026 |
| 宮崎サングリーン観光 | 電話：0983-23-6677 |
| 明倫観光バス     | 電話：0983-23-5088 |



#### D5 高鍋城址

通称舞鶴城。築城は平安期。日向の最初の豪族土持氏以降、伊東氏、島津氏の後、天正15年秀吉九州平定により、秋月氏移封後明治維新まで高鍋藩秋月氏の居城となった。現在、門館等は失われているが城堀がほぼ昔のまま残っている。舞鶴公園、城堀公園と桜の名所で町民の憩の場となっています。



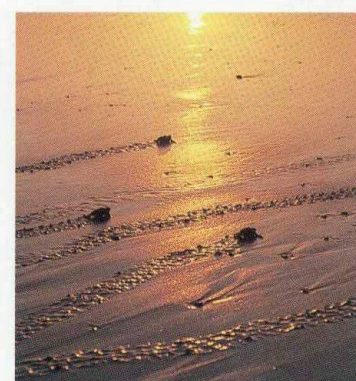
#### A5 高鍋湿原

町の西部、海拔約60メートルの高台に位置。東部と西部に分かれ、自生している植物はサギソウ、モウセンゴケ、ミミカキグサ、ヘビノボラスなど約300種。大陸系の寒地性の植物が多いのが特徴で、南限といわれる植物も多数。昆虫では、国内では最も小さいハッチョウトンボのほか、ハラビロトンボ、コシアキトンボなど数多くのトンボが飛び交っています。



#### 高鍋神楽

(六神連合大神事)  
昭和44年4月宮崎県指定の、無形民族文化財となり、数百年の伝統と、由緒深い比木神社を中心として発達した神楽で、清楚優美で昔の民俗を偲ぶ特色のあるものである。毎年、木城・川南・新富・高鍋町の神社で順番に、奉納され夜を明かして「三十三番」の神楽が舞われます。(1月開催)



#### アカウミガメ

(石井正敏氏撮影)  
県指定の天然記念物で、年に70頭から80頭が上陸し、町を挙げての保護に努め、産卵期には多くの見学者で賑わいます。  
(産卵期…5月～8月)  
(ふ化期…8月～10月)



#### E3 高鍋大師

岩岡保吉翁が持田古墳の霊を供養するために開山したところで、八十八ヶ所お札と翁自身が刻んだ700体余りの石像があり、うち9体は6メートルを越えます。



#### 天然カキ

日向灘の荒波に3年から4年の歳月をかけて育まれた風味と香りは全国的に有名で、11月から4月までが旬です。



#### E3 持田古墳群

国指定史跡で古墳の総数85基、5世紀から6世紀にかけて築造された豪族の墳墓です。計塚、石円塚、亀塚等があります。